

公開講座のお知らせ

テーマ：グローバル化時代の国際協力

グローバル化時代にはいり、ヒト・モノ・カネの移動が急増し、人々はこれまで以上に多様な文化を楽しむことができるようになりました。しかしながら、それと同時にさまざまな国際問題も急増するようになり、政治・経済をめぐる国家間対立だけでなく、民族問題、テロ問題、人間の安全保障問題など、冷戦期にはみられなかった新たな問題が生じつつあります。こうした国際問題を、政治、法律、社会などの観点から観察し、グローバル化時代における国際協力のあり方を具体的に紹介し、皆様とともに考えてみたいと思います。なお、担当者は国際開発研究科国際協力専攻の教員が中心です。

期間：2011年10月11日（火）－12月6日（火）

回数：9回

時間：毎週火曜日の午後6時30分から午後8時まで

場所：オーディトリウム（名古屋大学国際開発研究科棟8階）

受講料：無料

問合せ先：

＜申し込み関連＞名古屋大学文系総務課

電話：052-789-4952

電子メール：kai-sou@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

＜講座内容＞高橋公明

電話：052-789-4982

電子メール：takahashi@gsid.nagoya-u.ac.jp

お申込方法：

電子メールおよび郵送による申し込みの受け付けをいたします。受講の許可は、メールあるいは郵便による「受講証」の送付をもって代えさせていただきます。

＜電子メールでお申込の方＞

メールの表題に、「公開講座受講申込書」と記入して下さい。メールの本文に、「受講申込書」（この案内の末尾にあります）と同じ内容事項を記入の上、申込先のメールアドレスにお送りください。申し込みを受信した旨の返信メールをお送りしますので、ご確認ください。

電子メール：kai-sou@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

＜郵送でお申込の方＞

「受講申込書」に必要事項を記入の上、以下の住所にご郵送ください。

〒464-8601

名古屋市千種区不老町B4-5 (700)

名古屋大学文系総務課（国際開発研究科）宛

- 個人情報：「受講申込書」および「受講証」に記載される個人情報は、当研究科が開講する公開講座のために必要な業務を行うために利用いたします。それ以外の目的のために、利用または提供することはありません。また、これら保有個人情報の管理や利用は「名古屋大学個人情報保護規定」に基づき適正に取り扱います。

各回の内容と担当者

<注意：以下のスケジュールは変更されることがあります>

第1回：10月11日（火）

テーマ：国際協力と国際開発 —その歴史と現代—

担当：木村宏恒（国際協力専攻教員）

概要：はじめに、国際協力と国際開発という言葉は、第二次世界大戦後、どのように使われてきたのかを説明し、次に、現代（今日と近い将来）世界でどうなっていくのかを説明します。ここで言う現代とは、東西対立と南北問題が終わり、グローバリゼーションの時代になった1991年以降という意味です。日本の将来はアジア依存を深める方向に動いており、それは開発途上国の開発の将来と重なりあって行くこととなります。途上国が望む開発への協力なくして、国際協力はあり得ない、ということをご一緒に考えていきます。

第2回：10月18日（火）

個別テーマ：国際協力の新しい担い手 — ソーシャル・ビジネス

担当：伊東早苗（国際協力専攻教員）

概要：2006年にノーベル平和賞を受賞したバングラデシュのムハマド・ユヌスは、国際協力の新しい担い手となる「ソーシャル・ビジネス」(Social Business) を推進しています。この講義では、「ソーシャル・ビジネス」とは何であり、国際協力においてどのような役割を果たすことができるのかを皆さんと一緒に考えます。特に、国際協力の伝統的担い手である公的援助機関やNGO、さらに一般企業のCSR (Cooperate Social Responsibility) とソーシャル・ビジネスとはどう区別されるのかを、事例に基づいてお話しします。

第3回：10月25日（火）

個別テーマ：発展途上国の病院運営管理—南米ガイアナでの国際協力

担当：中村 真規子（太成学院大学教員）

概要：開発途上国の経済開発や福祉の向上を目的として、政府が行う国際協力を ODA（政府開発援助 Official Development Assistance）と呼びます。日本では JICA（国際協力機構 Japan International Cooperate Agency）が ODA の実施機関として技術協力と資金協力を担い、途上国でさまざまな活動を行っています。中南米の最貧国の一つであるガイアナ共和国は多くの開発課題を抱えており、JICA は農産物加工や漁業指導、看護などの分野で技術協力と無償資金協力をを行っています。2009年と2010年に、技術協力のボランティアとして病院運営管理の調査、指導を担当した経験に基づいてお話しします。

第4回：11月1日（火）

個別テーマ：WTO 体制下の貿易分野での国際協力

担当：川島富士雄（国際協力専攻教員）

概要：WTO（世界貿易機関 World Trade Organization）は物及びサービスに関し自由貿易を推進するとともに知的財産の世界的保護水準を定めています。WTO ドーハラウンドは先進国と途上国の深刻な対立の結果、現在、決裂の危機に瀕している一方で、WTO 紛争解決手続は先進国・途上国を問わず活発に用いられ、着実に成果を積み重ねています。

ドーハラウンドの決裂の背景や最近の具体的な貿易紛争（例：中国による対日レアアース輸出禁止）を分析しながら、WTO 体制下の貿易分野での国際協力の現状と課題を検討します。

第5回：11月8日（火）

個別テーマ：1990年以降の国際社会の変容と国際連合安全保障理事会

担当：山形英郎（国際協力専攻教員）

概要：1990年以降、国際社会はめざましい変容をきたしました。もっとも大きな変化は、米ソ二極構造が崩壊し、その結果、安全保障理事会が活発に行動を取ることができるようになったことです。その例として、今年3月に市民の保護を目的として、リビアに対する制裁が実施されたことをあげることができます（決議1973）。こうした安保理の活動の新たな展開にもとづいて、国家を超えた共同体が国際社会に形成されつつあるのか、検討したいと思います。

第6回：11月15日（火）

個別テーマ：国際協力の新たな側面 - 武力紛争への挑戦 -

担当教員：西川由紀子（国際協力専攻教員）

概要：近年の国際協力は、紛争後や紛争の恐れのある地域での活動や支援が多く見られます。この講義では、近年の武力紛争の特徴やそれを取り巻く状況を見ながら、武力紛

争を未然に防止するための国際協力のありかたを、事例の検討を通じて紹介します。

武力紛争や国際的なテロや犯罪活動の拡大によって、より困難になる国際協力についてみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

第7回：11月22日（火）

個別テーマ：インドネシアにおける震災対策

担当：島田弦（国際協力専攻教員）

概要：2004年12月にスマトラ島北部のアチェ州を大津波が襲って以来、インドネシアではこれまでに、人口密集地を主な被災地とする大地震がたびたび起こってきました。これらの震災において、復興のための取り組みは、中央集権的な方法から、地方分権的・草の根的なアプローチへと変化してきました。しかし、分権的・草の根的な方法の問題点も同時に明らかになってきました。アチェ州（2004年）、中部ジャワ州（2006年）、西スマトラ州（2009年）を襲った震災を比較しながら、これらの復興の方法と問題点についてお話しします。

第8回：11月29日（火）

個別テーマ：国際労働力移動（移民）から見る送出国と受入国の関係

担当：東村岳史（国際協力専攻教員）

概要：日本でも近年外国人労働者を今後どう受け入れるかについての関心が高まり、施策として「多文化共生」が語られるようになってきました。とはいえ、日本を含め受入国側の関心は、もっぱら自分たちの都合に偏るきらいがあります。この講義では送出国側の事情・実態や移住者自身・家族の生活なども合わせて総合的に現象をとらえる視点を示し、またそれが国際協力につながることを実例とともに述べてみたいと思います。

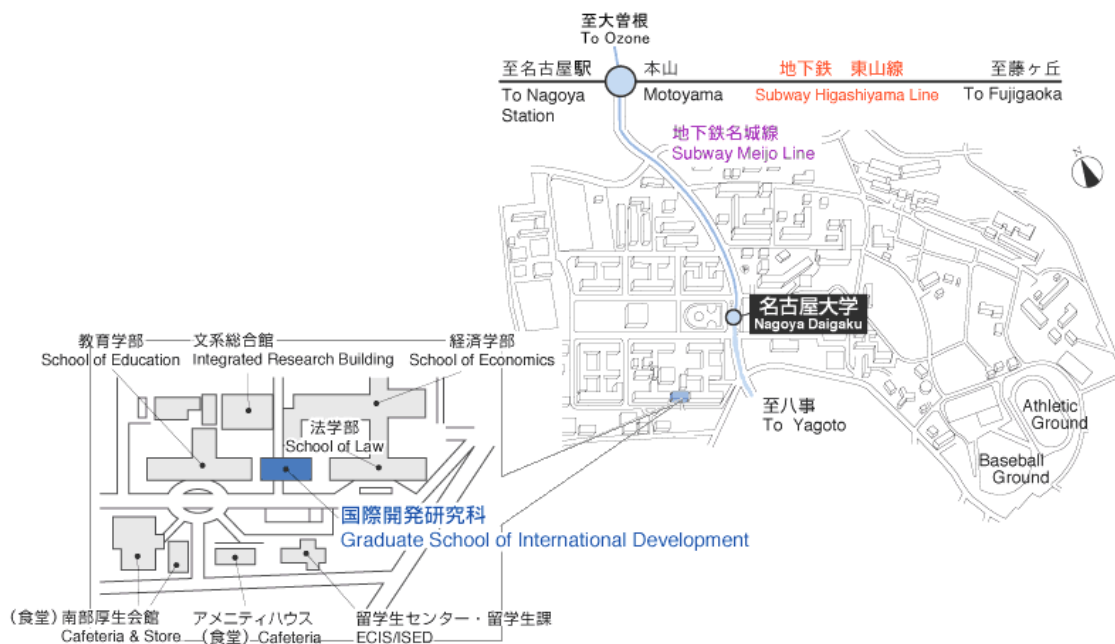
第9回：12月6日（火）

個別テーマ：IT教材を一緒に作って国際協力してみよう

担当：大橋厚子（国際協力専攻教員）

概要：最近、わりと簡単に始められる、でも波及効果の高い国際協力の方法を発見しました。それは、途上国の教員と日本の教員が議論しながら、社会科のIT教材を両国の言葉で作ることです。教材の内容は、両国で類似した問題を比較しつつ問題解決の方法を探るものにします。この講座では、具体例として、日本とインドネシアの官僚制と産業の関係について、現在の課題が形成されてくる様子を比較しつつたどります。この作業って、草の根で行なう歴史共通認識の醸成でもあるんです。2カ国から始めて多国間でできたらいいなと思っています。

会場案内図



市バス:「名古屋大学」バス停 徒歩5分／地下鉄:名城線「名古屋大学」駅下車1番出口 徒歩5分

-----キリトリ-----

平成23年度 名古屋大学大学院国際開発研究科公開講座

「グローバル化時代の国際協力」受講申込書

受付番号 *	受付年月日 *

* 欄は記入不要です。

フリガナ 氏 名		男・女 年齢 歳
住 所	〒	
	TEL :	
電子メール (わかりやく)		
勤務先または学校名		